



【本番用タイツ・シューズの取り扱いについて】

本番用のバレエシューズとタイツの取り扱いにつきましてご案内させていただきます。

7/10（月）よりお渡しいたしますので、お受け取りになりましたら速やかにお申し込み内容と商品をご確認いただき、間違いがございましたら事務所までご連絡ください。

(tel : 03-5795-0132 mail : minny@dreamparfait.com)

なお、本番用のタイツシューズは発表会当日まで使用せず、大切に保管してください。

（役により例外もございますので、その場合は指示に従ってください。）

また保護者様にはお名前を書いて頂く位置など、この資料を良くお読み頂き、本番までに滞りなく準備して頂きますようお願い致します。



シューズの名前の書き方

発表会では同じ楽屋の中で沢山のお子さんが着替えをします。

お子さんがシューズを間違えないように必ず右図のように

シューズの内底にはっきりと分かるように

記名をお願い致します。



また必ず左右が分かるように記入をしてください。

（右・左がわかりにくいお子さんには矢印を添えてあげると間違いにくくなります）

記名をした後はティッシュオフをして、しばらく乾燥させてからしまうようにしてください。

（タイツにインクが付着してしまいます）



タイツの名前の書き方



タイツはお尻側のタグに記名してください。



本番当日の準備

本番用タイツはご自宅から着用した状態でお越しいたします。

本番用シューズは汚れないように、記名したジップ付きの袋に入れてお持ちください。



リボンシューズのリボンの合わせ方（サファイア以上）

お持ちのリボンシューズを参考に、今回よりご自宅でリボンのカットをお願い致します。
シューズへの記名及びカットしたリボンのほつれ止めも必ずご自宅をお願い致します。



まず、左右を間違えないようにシューズを履きます。
 縁のゴムひもはちょうどよい状態に締めて、結びます。
 結んだ後はそのままほかずに着脱しますので、ゆるまないように結んで下さい。
 いつもきちんと縛り、必ずシューズの内側に入れて
 外から見えないようにしておきましょう。



次に足首にリボンを巻きます。

足首の前でリボンを交差させたら、あとはそのまま、足首のなるべく
 下の方にリボンが一本に見えるようにきれいに重ねて巻きます。

リボンが少し余るくらいで、足の内側で巻き終わり片結びをします。

次にもう一本のリボンも同じように巻いていきます。

このときも、前に巻いた上にきれいに重なるように、
 なるべく一本に見えるように巻きます。

そしてやはり内側で巻き終わり片結びをします。

絶対にとれないよう片結びは2回します。

結び目から3～4cm 残して余分なリボンをカットします。



★リボンをカットする際には、ほつれにくいように写真のようなV字の切り口にし、
 更に、市販のほつれどめや手芸用のボンドなどで先をかるく固めておくとよいでしょう。

余ったリボンは2枚揃えてきれいに折りたたみ、
 足首のリボンの中に結び目ごと隠してしまいます。



足首にリボンを巻くときには、緩すぎるとシューズが脱げたりリボンがずれて汚く見えてしまいますし、
 きつすぎると足が痛くなったり結び目がリボンに入らなくなってしまいます。
 ちょうどよい締め加減になるように何度も練習をしましょう。



※リボンは左右で長さが異なります。

シューズの左右を間違えると結び目が外側に
 きてしまいますので気をつけましょう。



完成！

*本番の日、シューズはご自分で履いて頂きます。ゆっくり履いている時間はありませんので、
 特にサファイアクラスのお子さんは、リハーサルまでにご自宅で何度も練習してください。